

[古代インド]

〈インダス文明〉：ドラヴィダ系民族が築いた。

前 2600 年頃～インドの西側を流れるインダス川流域で発展。

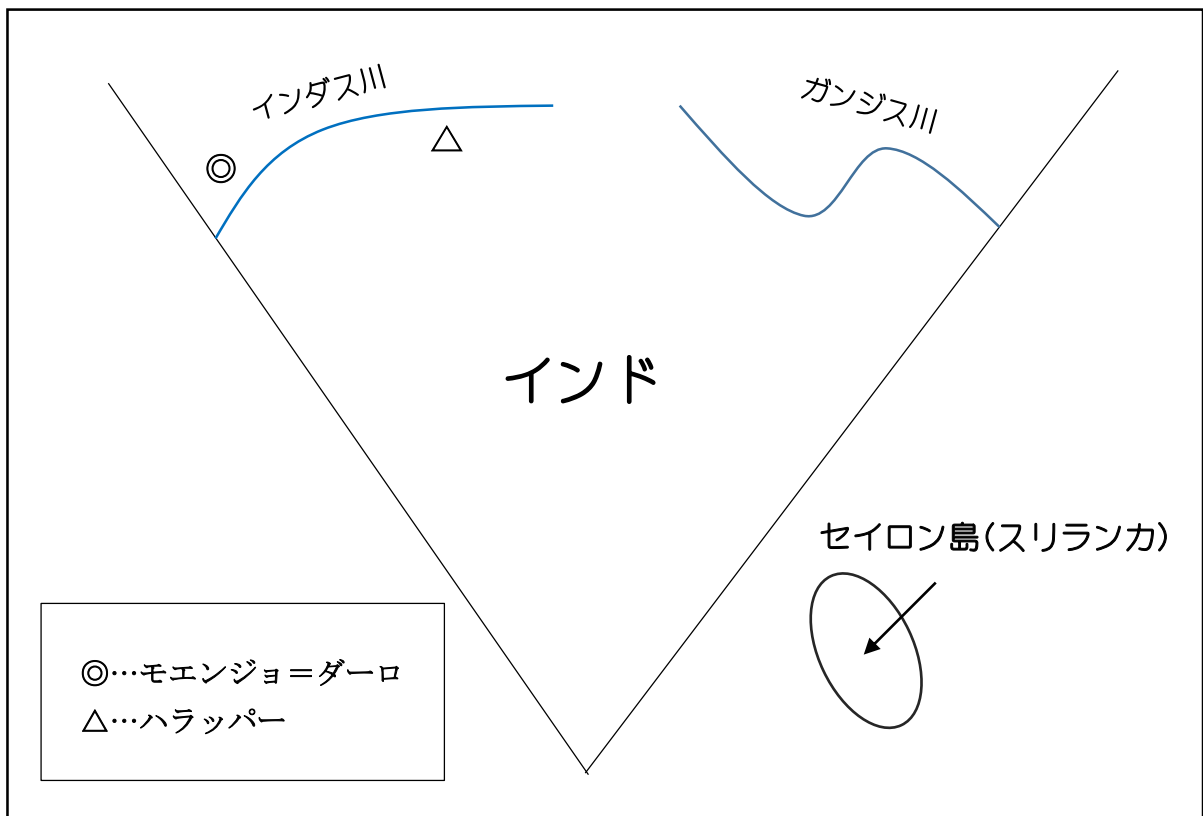
- ・ 青銅器文明で鉄器は用いていない。
- ・ 排水設備、水路が発達。
- ・ 象形文字であるインダス文字を用いたが未解読。
- ・ 文字が刻まれた印章が出土している。
- ・ メソポタミア文明との交易の跡が見られる。

代表的な遺跡…モエンジョ=ダーロ…インダス川下流域

ハラッパー…インダス川中流域

ドーラヴェーラー…比較的新しい遺跡で水利施設が有名

ロータル…南インドの遺跡



〈インド古代文明〉

前 2300 年～ **ドラヴィダ人**がインダス文明を築く。

前 2000 頃～ **アーリア人**が北部から侵入し、パンジャーブ地方に定住。

ドラヴィダ人は南部へ移住。

→アーリア人は自然の神々への参加や儀礼を『ヴェーダ』にまとめる。

※ヴェーダの中でも最古のものを『**リグ=ヴェーダ**』という。

その他にサーマ=ヴェーダ(詠法集)、ヤジュル=ヴェーダ(祭式集)、アタルヴァ=ヴェーダ(呪文集)がある。

→前 1000 年頃…**ヴァルナ**と呼ばれるカースト制の成立。

大きく 4 つの身分階級があり、更に職業の文化によって

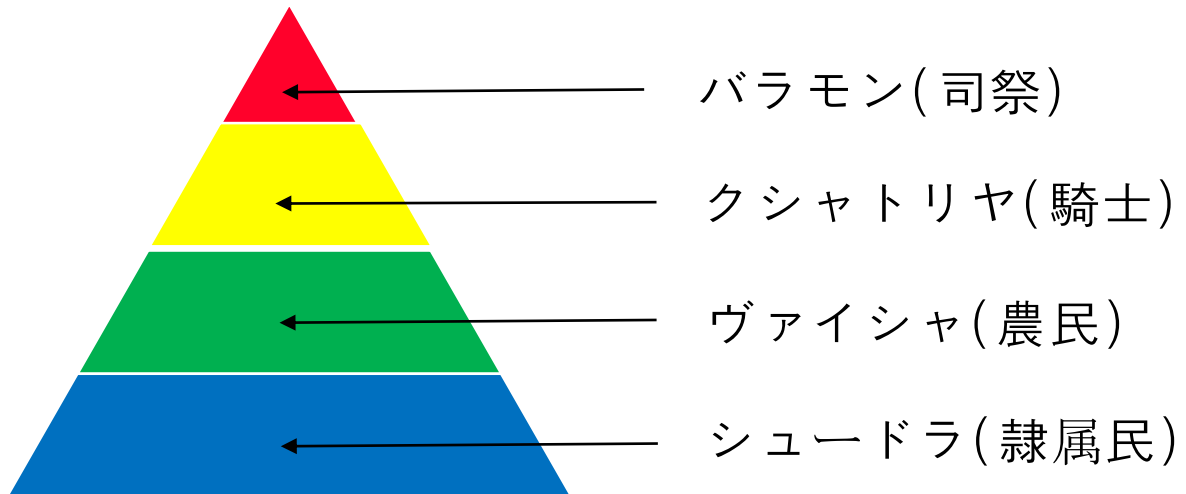
3000 ものジャーティに分けられる(下図参照)

→司祭者としてのバラモンの性格が強まると、**バラモン教**が成立する

→ヴェーダなどの文献を書き記す中でサンスクリット語が発達。

『**マハーバーラタ**』、『**ラーマヤナ**』の二大叙事詩が成立。

〈4 つのヴァルナ〉



[仏教の成立]

バラモン教は次第に形式的な祭祀中心主義に陥ってしまう。

→前5世紀頃、新しい宗教思想の出現

- ・ガウタマ=シッダールタ（シャカ族の王子）…仏教の開祖
- ・ヴァルダマーナ…ジャイナ教の開祖

〈仏教〉 開祖：**ガウタマ=シッダールタ**

前5世紀…ウパニシャッド哲学をもとにして成立。

- ・ヴァルナ制を批判して、クシャトリヤやヴァイシャの支持を得た。
- ・苦行を否定して輪廻からの解脱を目指す。

→ガウタマの死後、**ストウーパ**(仏塔)が各地にたてられ、
教義を正すための**仏典結集**が行われた

→その後、仏教は分裂していく

大乘仏教…出家できない者も含めた万人の救済を目指す一派

日本などインドから北で広まったため別名：北伝仏教

上座部仏教(小乗仏教)…従来の戒律を重要視する一派

東南アジアで広まったため別名：南伝仏教

〈ジャイナ教〉 開祖：**ヴァルダマーナ**

- ・ヴァルナ制を批判してヴァイシャから支持を得る。
- ・徹底した不殺生主義をとり、苦行を重視。

[マウリヤ朝の興亡]

前6世紀…ガンジス川流域で**マガダ国**が台頭し仏教、ジャイナ教などが
マガダ国内で生まれる。

→近隣の強国：**コーサラ国**を滅ぼして領土を併合。

前4世紀…アレクサンドロス大王の東方遠征

→混乱に乗じて、**ナンダ朝**を滅ぼした**チャンドラグプタ王**は**マウリヤ朝**を開く

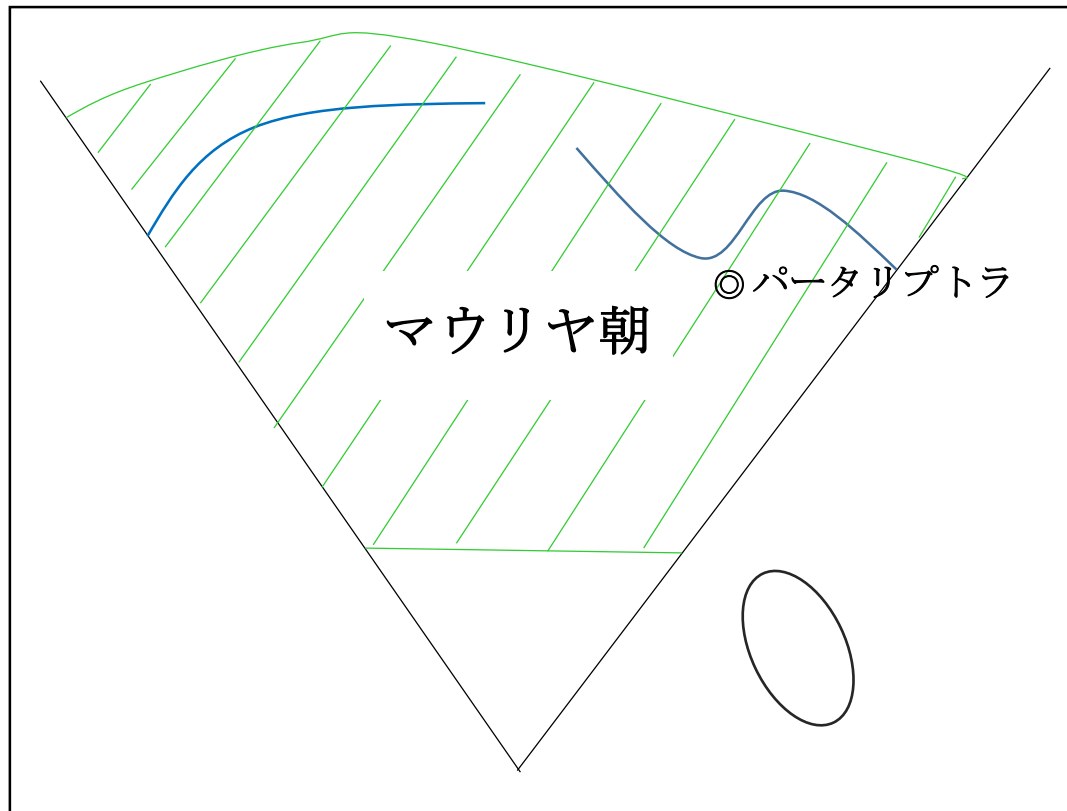
マウリヤ朝 建国：チャンドラグプタ王 都：パータリプトラ

前4世紀…チャンドラグプタ王が建てる。

→第3代：**アショーカ王**のとき全盛期

- ・インドを南端以外すべて統一した。
- ・仏教を保護し、**ダルマ(法)**という規範のもとに統治を行った。
- ・**第3回仏典結集**を行った。
- ・**磨崖碑・石柱碑**を各地に建てた。
- ・王子マヒンダをスリランカへ派遣し仏教を伝えた。

⇒前2世紀…バクトリアのサカ族、パルティアの侵入で滅亡。



[サータヴァーハナ朝とクシャーナ朝]

前2世紀…マウリヤ朝滅亡後、インドは分裂期になる。

前1世紀…インド南部にドラヴィダ系民族が**サータヴァーハナ朝**を建てる。

後1世紀…インド北部にイラン系民族が**クシャーナ朝**を建てる。

サータヴァーハナ朝 都：プラティシュターナ

前1世紀…インド南部の**デカン高原**で台頭していく。

- ・アーリア文化を取り入れる。

後1世紀～…ローマ帝国と海上の**季節風貿易**を盛んに行う。

⇒後3世紀ごろ…国内の諸侯たちの自立で滅亡

クシャーナ朝 都：プルシャプラ

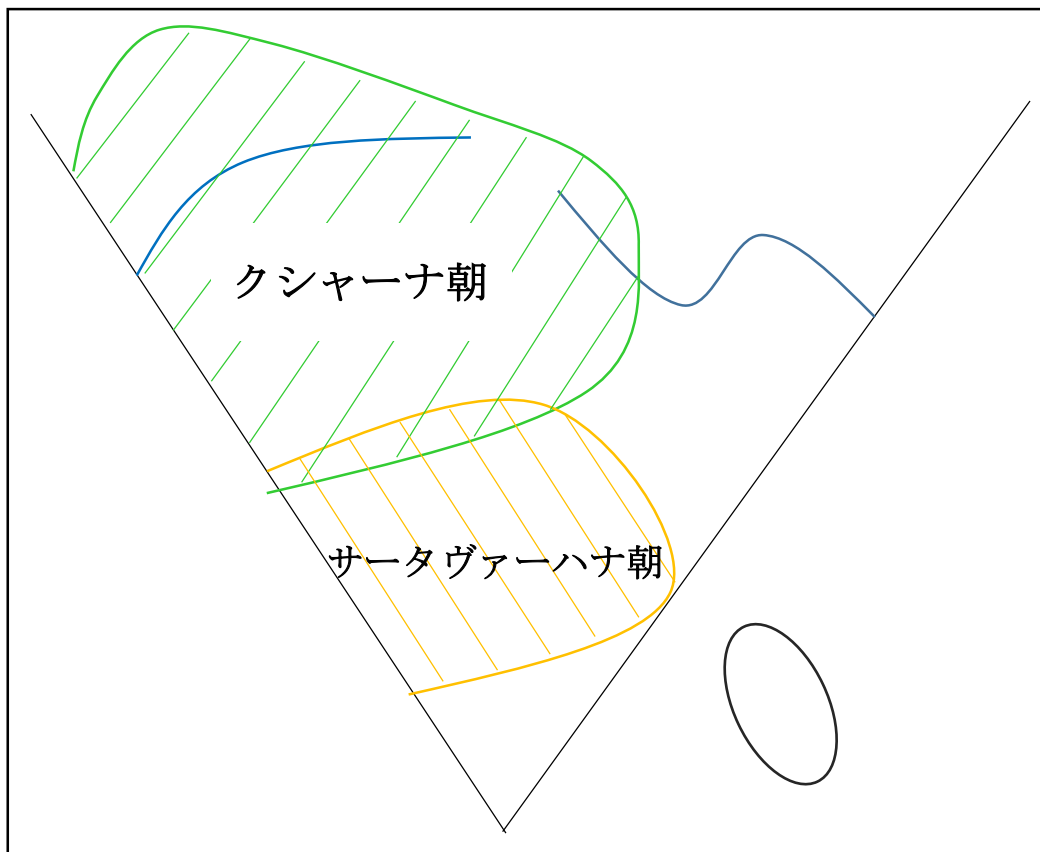
1世紀…イラン系のクシャーナ族が王朝を建てる。

→2世紀…3代**カニシカ王**のときに全盛期

- ・クシャーナ朝の最大領土を現出。
- ・第4回仏典結集を行う。
- ・ヘレニズム世界の影響を持つ**ガンダーラ美術**が栄える。

→大乘仏教が広まり、**竜樹(ナーガールジュナ)**が理論を大成。

⇒3世紀…ササン朝の圧迫でクシャーナ朝は滅亡。



[グプタ朝とインドの古典文化]

4世紀…**チャンドラグプタ1世**はガンジス川流域に**グプタ朝**を建てる。
→インダス川流域まで征服し、北インドを統一

グプタ朝 建国：チャンドラグプタ1世 都：パータリプトラ

4世紀…チャンドラグプタ1世により建てられる。

4世紀半ば…2代サムドラグプタの征服事業。

4世紀末…**チャンドラグプタ2世**(超日王)のとき全盛期。

- ・グプタ朝の最大領域を現出。
- ・東晋の僧：**法顕**が陸路で来訪し海路で帰る。後に『**仏国記**』を著す。
- ・純インドの文化が栄える。

⇒6世紀半ば…遊牧民族**エフタル**の侵入でグプタ朝は滅びる。

〈グプタ朝時代の文化〉

ヒンドゥー教…バラモン教が土着の宗教と結びついて成立した宗教。

シヴァ神(破壊の神)、ヴィシュヌ神(世界維持の神)などを中心とする多神教。

→ヒンドゥー教のもとで人々が生きる規範が『**マヌ法典**』まとめられた。

→7世紀頃…シヴァ神やヴィシュヌ神に絶対的な帰依を表す**バクティ運動**が南インドから広がる。

⇒14世紀頃…バクティ運動が北インドにも波及していき**シク教**の成立に影響

仏教…無着、世親らが大乘仏教を研究。

ナーランダール僧院を中心に研究が進められる。

- ・**アジャンター石窟寺院**…グプタ様式の壁画が残されたインド東部の寺院。
- ・エローラ石窟…断崖に掘られた仏教、ヒンドゥー教、ジャイナ教の寺院。

カーリダーサ…『**シャクンタラー**』：マハーバーラタをもとに書かれた
サンスクリット文学の最高峰。

ゼロの概念…グプタ朝で発明され、西アジアを経てヨーロッパに伝わった。

[ヴァルダナ朝とインド混乱期]

6世紀…グプタ朝がエフタルの侵攻で滅亡

7世紀前半…**ハルシャ=ヴァルダナ**(戒日王)が**ヴァルダナ朝**を建てる。

ヴァルダナ朝 都：カナウジ 建国：ハルシャ=ヴァルダナ

7世紀…ハルシャ=ヴァルダナは王朝を建てたあと、封建制を利用して統治

・唐の僧：玄奘がインドに陸路で来訪。ナーランダー僧院で仏教を学んだのちに『大東西域記』を記す。

⇒ハルシャ=ヴァルダナの死後、王国は崩壊(7世紀半ば)

以後、多くの王国が興っては滅亡(ラージプート時代)

ラージプート時代の主な王朝

└ プラティハール朝：北部

└ ラーシュトラクータ朝：デカンなど南部

[南インドの歴史]

インダス文明が滅びた後、ドラヴィダ系民族は南インドへ移動

→前3世紀…デカン高原にサータヴァーハナ朝、タミル地方に**チョーラ朝**、

インド南端にパーンディア朝が成立。

→後3世紀…サータヴァーハナ朝が滅び、チョーラ朝は一時衰退、パッラヴァ朝が勢力を強める。

→6世紀～8世紀…パッラヴァ朝とチャールキア朝が対立する中、バクティ信仰が盛んになる。

→10世紀…チョーラ朝がラージャラージャ王とラージェンドラ王のもとで全盛期。

→13世紀…パーンディア朝がチョーラ朝を滅ぼす。

→14世紀…ハルジー朝がパーンディア朝を滅ぼす。

[東南アジアの歴史]



【ベトナム北部】

前1世紀…**ドンソン文化**：銅鼓を特徴とする。青銅器・のちに鉄器文化

前2世紀…始皇帝の征服：南海郡など3郡を置く。

前111年…前漢の武帝による征服：交趾・日南など9郡を置く。

後40年…徴姉妹の反乱：後漢から一時独立を勝ち取る。

679年…唐、安南都護府を置く。

939年…呉朝の成立：中国から自立

1009年…**李朝**大越国の成立：李公蘊が建てたベトナム北部最初の長期王朝
都は昇竜(ハノイ)

1225年…**陳朝**大越国の成立：李朝の外戚が建国。元による侵攻を撃退。
漢字をもとに**字喃**(チュノム)を作成。

【ベトナム中・南部】

前1世紀…サーフィン文化：ベトナム中南部の青銅器文化。

後2世紀末…**チャンパー**(林邑)の成立：**チャム人**の王国、遺跡ミーソン

中国名：2世紀～…林邑

8世紀～…環王

9世紀～…占城

⇒17世紀まで存続した長命国家。

【カンボジア】

1世紀末…**扶南**が成立：メコン川下流域。外港**オケオ**が発展。

6世紀…**真臘**が成立：**クメール**(カンボジア)人の国家。

⇒8世紀に南北に分裂：北は陸真臘、南は水真臘

9世紀初め…真臘がジャヤヴァルマン2世のアンコール朝の下で再統一。

⇒**アンコール=ワット**…スールヤヴァルマン2世が建立した寺院。ヒンドゥー教→仏教

アンコール=トム…ジャヤヴァルマン7世が造営した王都

14世紀…ランサン王国の成立：ラオ人の王国。

【タイ】

7世紀初め…**ドヴァーラヴァティー**の成立：モン人の国家

⇒9世紀…港市国家ペグーを建てる。

1257年…**スコータイ朝**：タイ人による最初の統一王朝で仏教国

3代ラームカムヘン王のときに全盛でタイ文字を制作した。

1351年…**アユタヤ朝**の成立：タイ史上の最大領土を現出

【ミャンマー】

8世紀頃…**ピュー**(驃)の繁栄

1044年…**パガン朝**の成立：**ビルマ人**(ミャンマー人)による最初の統一王朝

ビルマ文字を作成し、上座部仏教を国教化

13世紀…元軍のパガン朝侵入：パガン朝は衰退、アヴァ朝、ペグー朝に分立。

【インドネシア】

〈マレー・スマトラ〉

670年頃…**シュリーヴィジャヤ王国**：三仏齊(同国を含む国家群の名称)・室利仏齊とも
唐僧、義浄が混乱期インドを訪れる際に来訪
⇒『南海奇帰内法伝』をのちに著わす

13世紀末…サムドラ＝パサイの成立：のちにイスラームに改宗
⇒14世紀末…マジャパヒト王国によるシュリーヴィジャヤの征服。

〈ジャワ島〉

8世紀…古マタラム朝：ヒンドゥー教の国家、プランバナン寺院群の建設。

752年…**シャイレンドラ朝**：大乘仏教遺跡**ボロブドゥール**の発見

929年…クディリ朝：影絵芝居**ワヤン**の発達。

1222年…シンガサリ朝：ヒンドゥー教国、内乱で滅びる。

1293年…**マジャパヒト王国**：ヒンドゥー教国、元軍を撃退して成立。

【古代アメリカの歴史】

古代アメリカ文明

- ・メソアメリカ文明(現在のメキシコあたり)
- ・アンデス文明(現在のペルー・チリの太平洋側)

※下図のマヤ・アステカ文明はメソアメリカ文明、インカ帝国はアンデス文明

〈メソアメリカ文明〉

前 1200 年頃…**オルメカ文明**：メキシコ高原で発展。巨大人面像など

前 2～後 6 世紀…**テオティワカン文明**：太陽のピラミッド

6 世紀…古典期マヤ文明：ティカルが中心。

⇒10 世紀…トルテカ文明と混合しトルテカ＝マヤ文明の成立：チチェンイツァが中心

マヤ文明の特徴

- マヤ文字の使用(8割程度解読)
- 20進法の使用
- 階段ピラミッドによる神殿

14 世紀…**アステカ王国**(文明)の発展

- 都：**テノチティトラン**(テスココ湖周辺)
- 文明を築いたのはチチメカ族
- 王国を建てたのはアステカ族
- 太陽暦を用いた。

⇒1521 年…スペインの**コルテス**がモンテスマ王を捕虜にする。
のち国王クアウテモックを最後に滅びる。

〈アンデス文明〉

前 1000 年頃…**チャビン文化**：チャビン・デ・ワントルを中心に発展。

1 世紀…ナスカ文明：カワチ遺跡を中心にペルー前代のパラカス文化を継承した文明。

1 世紀…ティアワナコ文明：ボリビアの高原で栄えた。チチカカ湖周辺で栄えた。

12 世紀頃…チムー帝国：ペルーのモチェ河口で栄えた。

13 世紀頃～**インカ帝国**：都は**クスコ**、**キープ**(結縄)による計数法。

アンデス高原を中心に発展し**マチュ=ピチュ**を建設。

⇒スペインのピサロが皇帝アタワルパを倒し、インカ帝国を滅亡させる。

